

**PUBLIC SYSTEM**

**リモコンゲートプラス A  
NRG プラスシリーズ  
機器仕様書**

第 1 版 2026 年 1 月 20 日

# 1 概要

---

本機器は、車路を遮断するように設置し車両通行を規制するシステムに適用します。

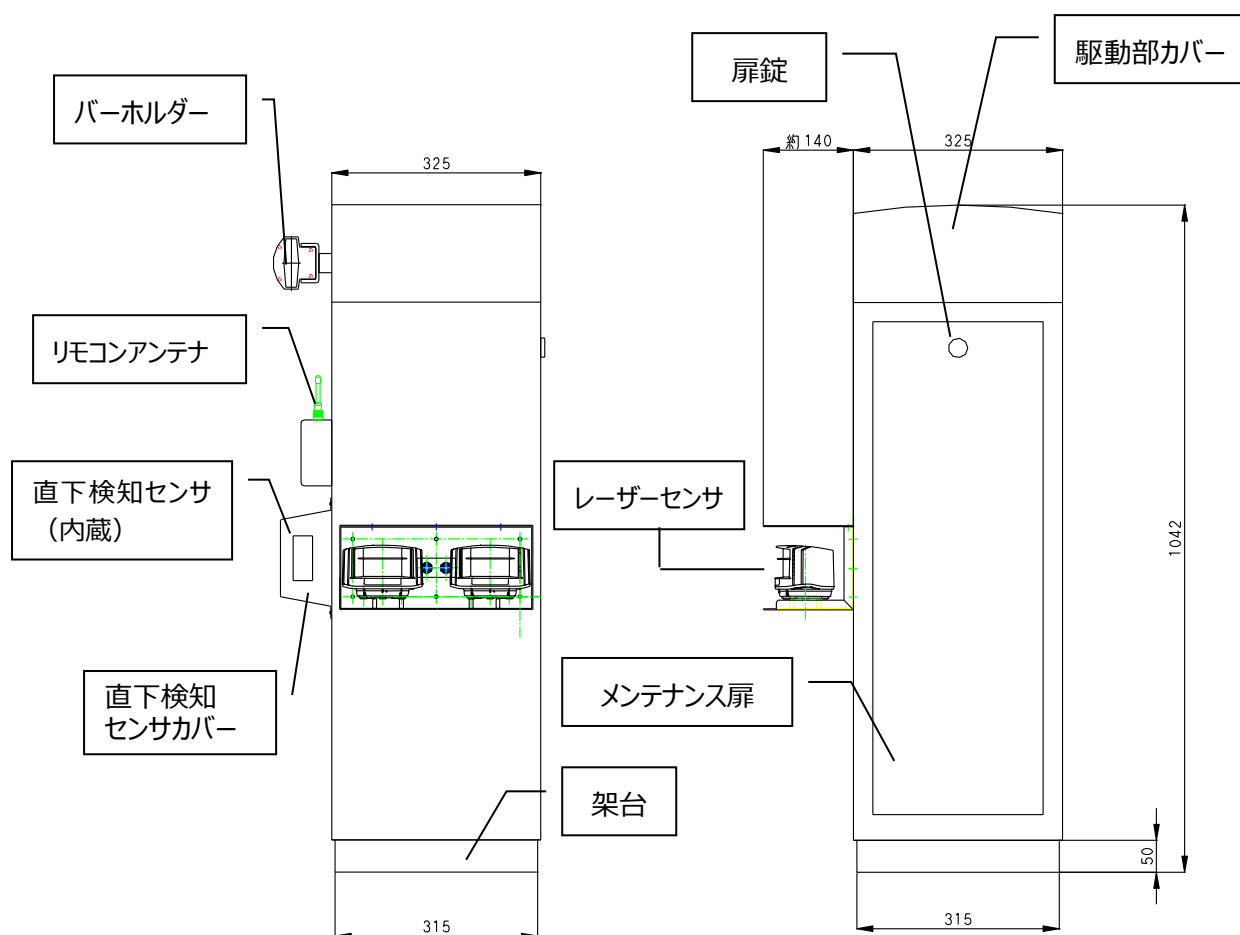
## ■ 機能・特徴

1. 本システムは、一車路二方向仕様の入口チェック、出口フリーとなっています。
2. ゲート本体のレーザーセンサにより、入場、出場車両を検知することができます。
3. 無線受信機を内蔵し、リモコン送信機の「OPEN」ボタンを操作することにより、ゲートバーを開けることができます。
4. 出場車両は操作することなく、ゲートバーを開にして出場することができます。
5. 機器内部のスイッチ操作により、手動でゲートバーを開閉することができます。
6. 停電時は機器内部のレバーの操作によりロックを解除し、ゲートバーを開閉することができます。
7. 光学センサにより遮断方向を監視し、ゲートバーの下降中に障害物を検知すると、バーを反転上昇することができます。(検出距離はセンサ本体から約 2m)
8. オプションにより、ゲートバーをイルミネートする赤色 LED 灯を取り付けることができます。
9. ゲートバーの動作表現について。  
上がる（上昇）＝開ける（開動作）  
下がる（下降）＝閉じる（閉動作）

## 2 各部の名称

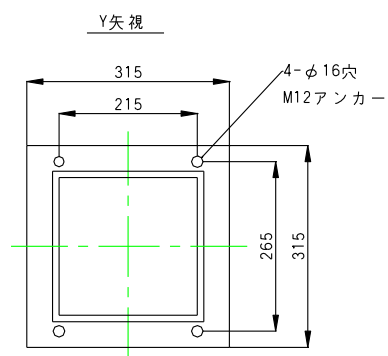
＜標準右設置、左設置は同じです＞

アルミ直バー3M



側面図

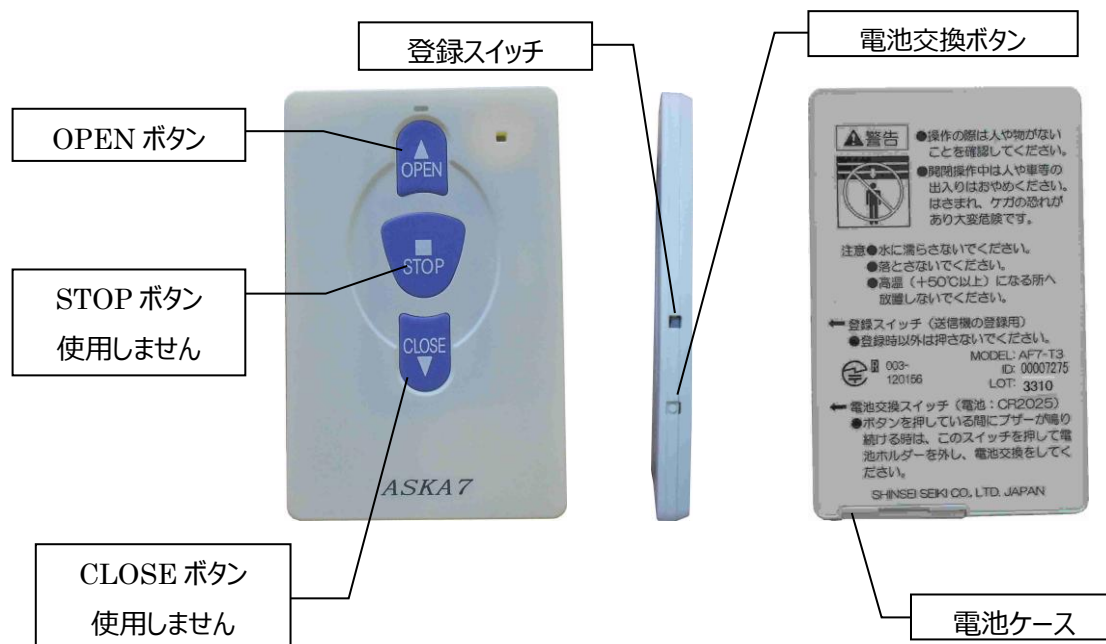
正面図



下面図

## ■ 2-2 送信機

### ①無線式リモコン



## 3 機器仕様

### ■ 3-1 カーゲート

| 項 目       | 説 明                                                                |
|-----------|--------------------------------------------------------------------|
| 定 格 電 圧   | 単相 AC100V $\pm 10\%$ 50/60Hz<br>(タップ切換後 AC110V $\pm 10\%$ 50/60Hz) |
| 消 費 電 力   | 80VA 以下                                                            |
| 接 地       | D種接地                                                               |
| 外 装       | 鋼板製 日塗工 : D75-50B                                                  |
| 材 質       | 鋼板製または SUS 製                                                       |
| 外 形 寸 法   | 約 W325×H992 (1042) ×D325mm ( ) 内は架台含む<br>レーザーセンサ含まず                |
| 重 量       | 約 45Kg (ゲートバーなし)                                                   |
| 構 造       | 屋外自立型(架台付)                                                         |
| 絶 縁 耐 圧   | AC 入力～筐体間 AC1000V 1 分間                                             |
| 絶 縁 抵 抗   | AC 入力～筐体間 DC500V 10M $\Omega$ 以上                                   |
| 動 作 温 度   | -10℃～+40℃                                                          |
| 動 作 湿 度   | 10～90% 結露しないこと                                                     |
| 開 閉 時 間   | バー90°開時 : 2.1～2.3 秒 閉時 : 2.6～2.8 秒                                 |
| オ プ シ ョ ン | バーLED、バー用垂れ幕、鋼板製基礎 (溶融亜鉛メッキ処理)                                     |
| 据 付       | 4-M12 のアンカーボルトにより底面を固定                                             |

### ■ 3-2 受信機

| 項 目     | 説 明                                 |
|---------|-------------------------------------|
| 定 格 電 圧 | AC100V $\sim 240V \pm 10\%$ 50/60Hz |
| 消 費 電 力 | 待機時 : 1W 以下<br>動作時 : 5W 以下          |
| 動 作 温 度 | -10℃～+40℃                           |
| 電 波 法   | 証明規則第 2 条第 1 項第 8 号の特定無線設備          |
| 送信機登録台数 | 最大 200 台                            |
| 出 力 方 式 | 2a1c リレー接点 (250V3A 抵抗負荷)            |
| 応 答 時 間 | 0.5 秒以下                             |
| 検 波 方 式 | ダブルスーパーヘテロダイン                       |
| ア ン テ ナ | 外部アンテナ                              |
| 動 作 確 認 | 赤色 LED×3                            |

### ■ 3-3 送信機

#### 無線式リモコン

| 項 目         | 説 明                             |
|-------------|---------------------------------|
| 出 力         | 1mW 以下（工事設計認証取得済）               |
| 送 信 周 波 数   | 426.075MHz                      |
| 動 作 温 度     | 0℃～+50℃                         |
| コ ー ド 種 類   | 1,677 万とおり                      |
| 操 作 ボ タ ン   | OPEN ②CLOSE（使用しない） ③STOP（使用しない） |
| 電 池         | コイン型リチウム電池（CR2025）DC3V×1 個      |
| 電 池 寿 命     | 1 年（10 回／1 日動作）                 |
| ア ン テ ナ     | 内蔵パターンアンテナ                      |
| 送 信 確 認     | 赤色 LED× 1 秒間                    |
| 送 信 時 間     | 1 秒間                            |
| 通 信 保 証 距 離 | 約 5m～ ※電波の状況は環境によって異なります        |
| 重 量         | 約 27 g                          |

#### ・安全にご使用いただくための注意事項

- 送信機や受信機を分解したり、改造しないでください。
- 開閉操作をするときは、人の出入りや障害となるものがないことを確認のうえ、おこなってください。また電波が十分到達する範囲内で使用してください。
- 静電気や雷等の電波がリモコン装置に加わった場合、作動距離が短くなったり、動作しにくい場合があります。
- また非常に強力な電波（不法市民ラジオ、パーソナル無線、アマチュア無線等）がリモコン装置に加わった場合は、誤動作する恐れがあります。
- 本無線機は、電波法に基づく特定小電力機器として技術適合基準証明を受けています。  
技術基準適合ラベル（送信機裏面に貼ってあるラベル）は剥がさないでください。  
ラベルのない送信機は法律で使用が禁止されています。
- 頻繁に送信機のボタン操作を行わないでください。一時的に送信できなくなりますが、これは特定小電力無線設備による特性のため故障ではありません。
- 送信機や受信機は高温になる位置に保管、または取付けしないでください。
- 送信機を濡れた手で触ったり、湿気の多いところに保管しないでください。
- 管理外の送信機を誤って登録しないでください。
- 日本国内でしか使用できません。国外では絶対に使用しないでください。

### ■3-4 ゲートバー

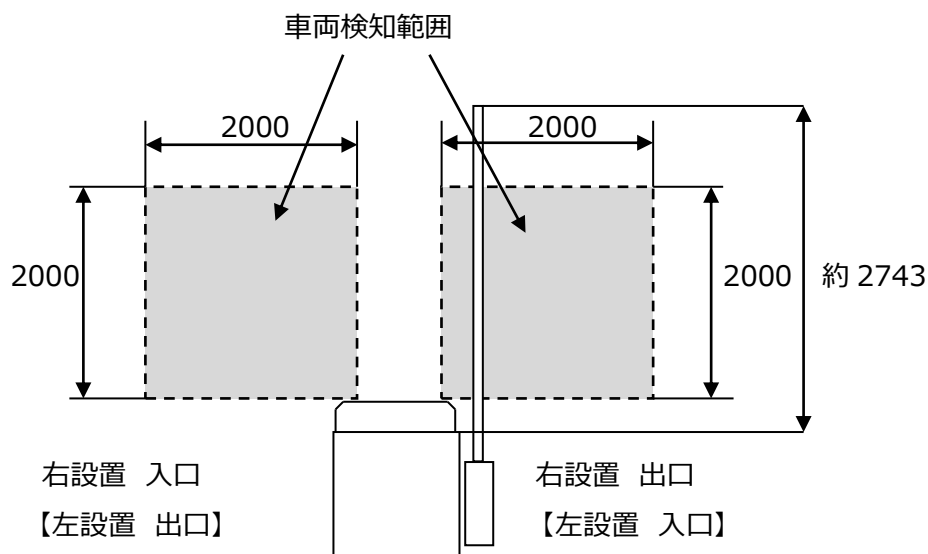
(※形状の規格は、バー本体の規格です)

#### (1) 角型ゲートバー (3mアルミ製)

| 項 目 | 説 明                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------|
| 材 質 | アルミ押し出し成型材                                             |
| 重 量 | 約 2.4kg                                                |
| 形 状 | 約 75 (H) × 22 (D) × 3006 (L) mm<br>※バー下縁に中空ゴムクッション材を装着 |

### ■3-5 車両検知レーザーセンサの検知範囲

車両検知レーザーセンサによる車両検知の範囲は図のようになっています。



1. 左設置の場合は、入口、出口が右設置の逆となります。
2. 光源や動物体が検知エリアに入る場所への設置は避けてください。
3. 煙や霧が検知エリアに侵入する場所への設置は避けてください。
4. 結露が発生する場所への設置は避けてください。
5. 出口の検知エリアに入が入りますと、ゲートが「開」となりますので禁止してください
6. レーザーセンサ検出高さ（路面より）約 640 mm ±約 50 mm

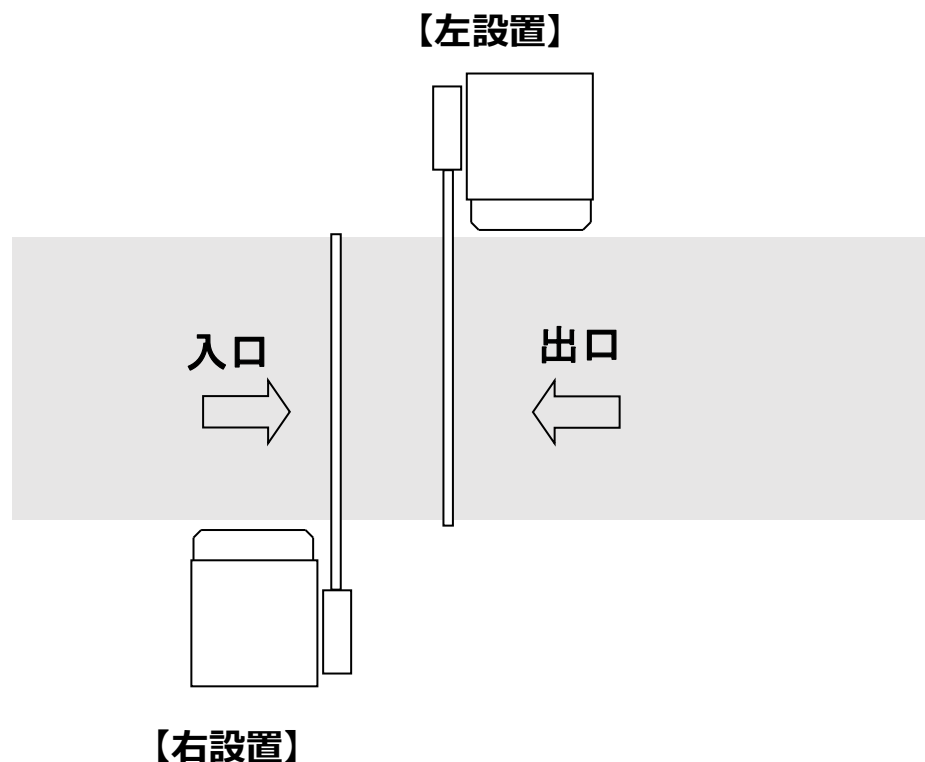
### ■3-6 基本動作

1. 入口ゲート手前で車両が一時停止（入口車両検知レーザーセンサが ON）してリモコン送信機の「OPEN」ボタンを操作しますと、ゲートが「開」となります。
2. 車両が出口車両検知レーザーセンサ検知エリアを通過し、出口車両レーザーセンサが「OFF」しますとゲートが「閉」となります。
3. バーが「閉」動作途中で直下検知センサが動作しますと、バーは反転動作して「開」となります。直下検知センサが「OFF」しますとバーは「閉」動作します。
4. 出口ゲート手前で車両が一時停止（出口車両検知センサが ON）しますと、バーが「開」となり車両は出ることが出来ます。
5. 車両が入口車両検知センサ検知エリアを通過し、入口車両検知センサが「OFF」しますとバーは「閉」動作します。
6. 車両が接近し連続してゲートを通過しますと、ゲートは「開」の状態となり、最後尾の車両が検知エリアを通過後ゲートが「閉」となります。

### ■3-7 車路に対してのカーゲート設置方向

カーゲート本体は右設置、左設置で共用となっています。

車路に対しての設置方向の確認をしてください。



## 4 注意事項

1. （電源投入時に、初期化の為にゲートバーが開端まで上昇します。  
（開いた状態からは、少し閉じかけて開きます。）
2. 開動作は、「開信号」ON（UP－GND 間を短絡）時に開始します。  
閉動作は、「閉信号」がON（DOWN－GND 間を短絡）からOFF（DOWN－GND 間を開放）に変わった時に開始します。
3. 「開端」「閉端」の検出は、電子回路で行っている為に、モータ駆動系が故障した場合ゲートバーの状態と不一致になることがあります。機械式検出器（マイクロスイッチ）を付けることができます。
4. 本機器への供給電圧の規格は、「AC100V $\pm$ 10%」となっており、規格外の電源を供給した場合は故障する場合があります。供給電圧が AC110V を超える可能性がある場合は、電源部トランスタップの結線を変更することで「AC110V $\pm$ 10%」の対応は可能となりますが、ゲートバーの開閉速度が変動することがあります。
5. 車両検知レーザーセンサはクラス 3R のレーザーが照射されています。  
目への直接被曝を避けること。レーザー放射口を直視しないで下さい。

改訂履歴

| 版数    | 改訂年月日           | 改訂内容 |
|-------|-----------------|------|
| 第 1 版 | 2026 年 1 月 20 日 | 新規作成 |
|       |                 |      |
|       |                 |      |
|       |                 |      |